

A. 主な動き

1. 内政

政党の動き

・14日、民主党は、ウラビエ党書記長を解任し、新書記長(党改革推進担当)にボトナリ氏を任命。

世論調査

[CIVIS]

・次の日曜日に議会選挙が実施された場合の政党支持率
共産党:28%、自由民主党:19%、自由党:13%、民主党:8%等
・調査は4月10日から5月10日にかけて1,055名の成人を対象に実施。

2. 経済

IMF

・18日、ゲオルギエフ駐モルドバIMF事務所長は、IMF及びモルドバ政府関係者が拡大クレジット及び拡大基金協定に基づく第5回レビューの実施状況について、事務レベルでの合意を交わした旨報告。この合意はIMFの管理執行理事会で承認される必要があるが、このレビューの完成により、モルドバへ7,700万ドルを融資することが可能となる旨発表。

3. 外政

ティモフティ大統領のモスクワ訪問

・15日、ティモフティ大統領は、モスクワで開催されたCIS非公式サミットに出席。同大統領は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領との会談において、両国友好関係を今後も発展させることを確認し、アゼルバイジャンからモルドバへの投資の問題に関し協議。

ダーヴトオール・トルコ外相の来訪

・12日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、モルドバ訪問中のダーヴトオール・トルコ外相と会談し、両国関係、特に経済、教育、農業、インフラ及び観光等の分野における協

力計画強化に関し協議。

・同日、ダーヴトオール外相はフィラト首相と会談し、両国間関係の強化、特にモルドバ国内への投資計画をはじめとする貿易・経済関係発展に関し意見交換。

フィラト首相のイスラエル訪問

・14日、フィラト首相は、イスラエルを訪問し、キシノウ生まれのリーベルマン・イスラエル副首相兼外相と会談。両者は、モルドバ・イスラエル協力関係強化に関し協議の上、環境保護分野における両国間協力に関する協定に署名。

・15日、フィラト首相は、ネタニヤフ首相と会談し、経済、社会、人文、農業及び環境分野における両国協力関係の発展を確認。同日、フィラト首相は、モルドバ・イスラエル・ビジネス・フォーラムに出席。

4. 沿ドニエストル

・12日、シモンコウクライナ共産党党首は、沿ドニエストルを訪問し、シェフチューク「大統領」と会談。両者は、ウクライナ・沿ドニエストル協力関係の強化に関し協議。

・16日、モルドバを訪問したハルチェンコ沿ドニエストル問題担当ウクライナ特別代表は、ルプ議会議長と会談し、次回「5+2」者会合への準備状況等に関し協議。同日、同特別代表は、ティラスポリを訪問し、シェフチューク「大統領」及びシュタンスキ「外相」と会談。双方は、沿ドニエストルとウクライナとの関係の強化及び沿ドニエストル地域に居住するウクライナ人の問題に関し協議。

・16日、シェフチューク「大統領」は、「モルドバとの交渉過程の目的及び原則に関する」法案を「最高会議」から取り下げた旨発表。同日、沿ドニエストル「外務省」は、本法案は2011年11月に提出されたもので、その後の交渉進展の成果(ダブリン及びウィーンにおける合意事項等)が盛り込まれていないための決定である旨のコメントを発表。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)